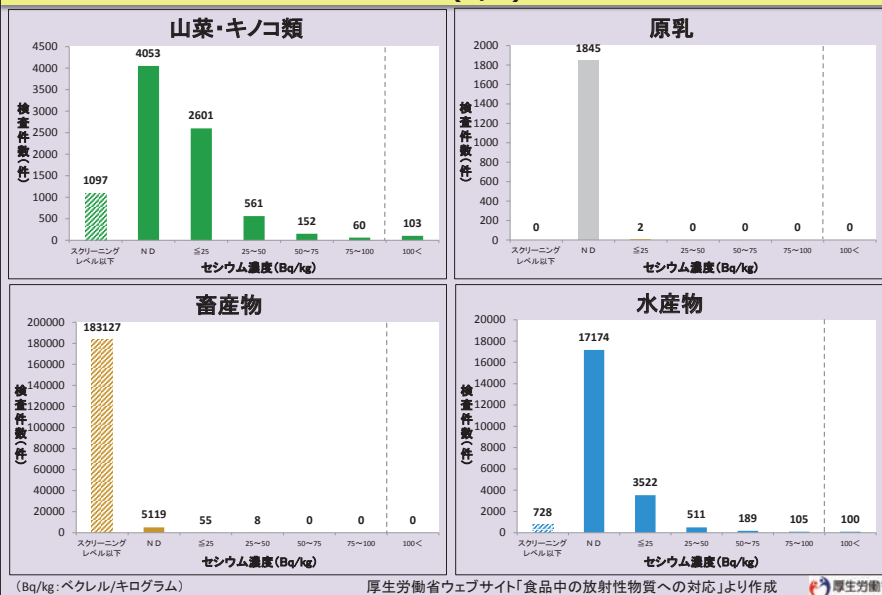


食品中の  
放射性物質対策17都県産食品の食品群別セシウム濃度分布  
(平成26年度公表分) (2/3)

この図は、平成26年度の17都県産の山菜・キノコ類、原乳、畜産物及び水産物における放射性セシウム濃度の測定結果を示しています。

食品中の放射性物質検査は主として出荷前の段階において実施されています。基準値を超過するものは、出荷制限が指示されている地域のものがほとんどであり、廃棄等の適切な措置が採られます。

(「スクリーニングレベル以下」と「N D」の違い)

グラフにおける「スクリーニングレベル以下」とは、スクリーニング法により得られた結果が、スクリーニングレベル以下として報告されたものです(斜線グラフ)。

また、「N D (Not Detected)」とは、ゲルマニウム半導体検出器を用いた核種分析法により得られた結果が、検出限界以下として報告されたものです。

なお、スクリーニング法による検査の結果、スクリーニングレベルより大きい場合には、ゲルマニウム半導体検出器を用いた核種分析法にて改めて検査を実施することとされています。

本資料への収録日：平成26年3月31日

改訂日：平成28年1月18日